

容リ協ニュース 102号 eco ワードパズルの答え

「都市油田」

ごみを都市部に眠る貴重な“資源”とみなす考え方のこと。資源の少ない日本において、持続可能な資源を確保する重要な手段として実用化が進められています。

トレーや日用品容器などさまざまなものが混合されている「廃プラスチック」は、高温で熱分解するケミカルリサイクルによって水素や炭酸ガス、アンモニアといった化学原料にしたり、油化によって石油化学原料となる油に戻したりといった再生も行われています。

単一での収集が進む「PET ボトル」は、洗浄・粉碎したのち高温・減圧下で不純物を取り除く物理的再生法、メカニカルリサイクルによって「ボトル to ボトル」の水平リサイクルが一般化。

主に家庭から排出される植物由来の「廃食油」は、高温高圧下で水素と反応させる水素化精製技術（HEFA 法）などにより SAF（航空燃料）や HVO（バイオディーゼル燃料）に再生する実証が進められています。

